

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備） 事後評価書

平成28年 2月26日

計画の名称	10. 各務原市における主要な公共施設及び主要幹線へのアクセス強化によるにぎわいのあるまちづくり		
計画の期間	平成21年度～平成24年度（4年間）	交付対象	各務原市
計画の目標			

日常生活圏内の交通網を改善し、主要な公共施設までのアクセス強化と安全な自歩道空間の確保を図るとともに、都市の魅力向上を促す環境整備を行い、にぎわいのあるまちを形成する。

計画の成果目標（定量的指標）			
1. 市役所など主要な公共施設からの10分圏カバー面積の拡大			
2. 道路整備による走行損失改善			

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H21当初)	中間目標値	最終目標値 (H24末)	
① 市役所から10分で到達可能な地域の拡大（面積増加率） 【100-Σ(算出時面積)/Σ(当初面積)×100】	0% (5.09k㎡)	-	37.9% (7.02k㎡)	
② 道路が整備されることによる時間短縮効果（整備区間の自動車走行時間短縮率） 【100-Σ(算出時走行時間)/Σ(当初走行時間)×100】	0% (24.1分)	-	41.5% (14.1分)	

全体事業費	合計 (A+B+C)	10,583 百万円	A	10,359 百万円	B	0 百万円	C	224 百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C)	2.1%
-------	---------------	---------------	---	---------------	---	----------	---	------------	-------------------------	------

事後評価（中間評価）

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
	平成28年2月
各務原市において、指標の算定により目標の達成状況を確認。	公表の方法
	各務原市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 地方道路整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考
											H21	H22	H23	H24		
10-A1	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	改築	(他)那加小網線・各務原大橋	道路改良 L=2.6km	各務原市					8,537	
10-A2	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	改築	(他)那816号線	道路改良 L=1.3km	各務原市					1,098	
10-A3	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	交安	(一)鶴1095号線	交差点改良 L=0.3km	各務原市					345	
10-A4	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	交安	(他)各416号線	交差点改良 L=0.3km	各務原市					42	
10-A5	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	交安	(一)鶴1113号線	交差点改良 L=0.2km	各務原市					0	
10-A6	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	交安	(一)川2号線	歩道整備 L=0.8km	各務原市					39	
10-A7	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	交安	(二)鶴1200号線外1	歩道整備 L=0.5km	各務原市					46	
10-A8	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	交安	(他)川1130号線	歩道整備 L=0.5km	各務原市					0	
10-A9	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	交安	(一)川1号線	歩道整備 L=1.4km	各務原市					0	
10-A10	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	修繕	(一)稲803号線	橋梁補修 L=37m	各務原市					30	
10-A11	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	交安	(他)鶴192号線	歩道整備 L=0.6km	各務原市					31	
10-A12	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	交安	(一)稲803号線	歩道整備 L=0.14km	各務原市					26	
10-A13	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	修繕	(他)蘇北106号線(内山橋)外1橋	橋梁補修 L=61.5m	各務原市					40	
10-A14	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	修繕	(他)那816号線(那加橋)	橋梁補修 L=30m	各務原市					4	
10-A15	街路	一般	各務原市	直接	各務原市	S街路	改築	(都)犬山東町線バイパス外1	道路改良 L=330m	各務原市					97	
10-A16	道路	一般	各務原市	直接	各務原市	市町村道	交安	(二)那378号線	道路改良 L=1,100m	各務原市					25	
合計															10,359	

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考	
										H21	H22	H23	H24			
合計															0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 (百万円)	備考	
										H21	H22	H23	H24			
10-C2	施設整備	一般	各務原市	直接	各務原市	公園整備	サイクリングロード拠点事業	公園整備 A=5,900㎡	各務原市					167		
10-C3	施設整備	一般	各務原市	直接	各務原市	公園整備	アプローチ橋下憩いの場整備事業	公園整備 A=6,110㎡	各務原市					48		
10-C4	施設整備	一般	各務原市	間接	各務原市	無電柱化	那816号線電線共同溝事業	引込設備 N=78件	各務原市					9		
合計															224	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
10-C2	各務原大橋(A1)は国営木曾三川公園三派川地区サイクリングロード計画に位置づけられており、本橋と同様に橋台付近の橋詰を景観に配慮したサイクリング拠点とし、自転車や歩行者に休憩の場を提供する。	
10-C3	那加小網線(A1)における高架下部分の有効利用を図るため、隣接する未利用地と一体に整備して、道路利用者である自転車や歩行者と、近隣住民に憩いの場を提供する。	
10-C4	市道那816号線電線共同溝事業については、電線共同溝方式にて整備を実施しており、電線共同溝本体管路の設置にあわせ、各家庭への引込設備を同時に整備することで効果が上がる。	

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 道路交通網が改善されたことによりアクセスが向上し、主要な公共施設まで短時間で到達可能な地域が拡大した。 道路整備に併せて自歩道空間が確保され、歩行者・自転車の安全性が向上した。 				
II 定量的指標の達成状況	指標① 市役所から10分 で到達可能な 地域の拡大 (面積増加率)	最終目標値	37.9% (7.02k㎡)	目標値と実績値 に差が出た要因	目標値を達成している。
		最終実績値	37.9% (7.02k㎡)		
	指標② 道路が整備され ることによる時 間短縮効果 (時間短縮率)	最終目標値	41.5% (14.1分)	目標値と実績値 に差が出た要因	一部の路線において地権者及び関連事業者との調整に不測の期間を要し、事業完了に遅れが生じたため。
		最終実績値	39.0% (14.7分)		

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	日常生活圏内の交通網改善とともに、環境整備の実施により歩行者・自転車にも快適な空間が形成されたことから、社会資本の利用が促進され、都市の魅力向上に寄与するものと考えられる。
--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

活力創出基盤整備は完了するが、引き続き、社会資本整備総合交付金や防災・安全交付金にて事業継続していく。